

【才76号】 昭和39年1月15日発行 非売品 発行所 国見町公民館 発行人 佐藤善次郎 編集人 鈴木美一 印刷所 宇佐美印刷所

毎日六〇〇着の仕上げ

工場誘致第一号完成

わが町が誘致条件をつくり、駅前に建設中であつた陸商會縫製工場が九分通り出来上り、今盛んに製品を出している。二〇〇坪の大作業場には六十台の電気ミシンがたてよこに行儀よく並び、女工さんたちの見事な手さばきで、見る間にレダのジャンパーが縫い上つていく。勇ましくモーターのひびき、一切が流れ作業で、毎日六〇〇着を仕上げている。工具さままとまれば一日二〇〇着にする予定とのこと。現在いる六〇名は大部

分町内の娘さんや嫁さんたちである。開くところによると三か月の養成期間を終えた人は月一万円位の収入になるそうである。倉庫には荷造りされた製品も、材料が山と積まれ、裁断部では一度に一〇〇着分の裁断機力である。もちろん全部機

農村青年建設班合宿始まる

新しい農村建設の推進力となる人づくりの一環として、昨秋設けられた「農村青年建設班」は、浦導員五十嵐衛氏を中心にして二十名の若人たちが研修にいそんでいる。特に今年十月から一月は青年研修所に合宿し、夜食を共に

が研修にいそんでいる。特に今年十月から一月は青年研修所に合宿し、夜食を共に



完成した工場内部（作業風景）

新しい年が明けると、誰しも一度は先入観や偏見を去つて心を清くして既に往を顧みず将来を考へるものがある。アメリカ人は四年に一度の大統領選挙に當つて、国民の全部が自由の立場に立て、学ばずはこれを「自由の季節」と名づけている。そのように、私共日本人にとつて、そういう自由の季節に當るものは新年であるといえましよう。この意義ある習慣に従ひ、日頃とは違った問題にも心を配り己を空しくして、静かにものを考えてみることはまことに意義深いことであると思ひます。

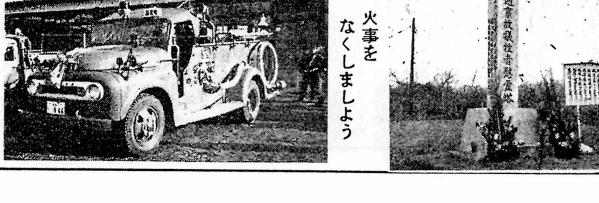
新年に際して又一、日本人の誰しも頭にうかぶのは、今年が十八回オリンピックの年であるという点でありましよう。この秋十月には、世界注視のうちに、待望のオリンピック

大会の東京開催を待ちどわたりながら、日支事変の激動の中、その開催の権利を放棄して迎える、いわば悲願成就の年でありましよう。それだけにその誇りと喜びも大なるものであります。私共も開國國民の一人として、このスポーツ祭典の意義を肝に銘じ、心から今秋の来るを待ちたいと思ふものであります。

これだけ知っておきたい 国民年金の話 (その二) 皆さんの納めた保険料はどの事業に貸付けられるか 国民年金は、国民皆年金のために国が行う社会保険です。そのために国の負担も大きくなり、利息も付ることになります。納められた保険料をただ金庫の中に入れておいたのでは、これを確実にどこかに貸しつけて、その金をふやしてゆかなければならぬわけですから、これを貸すためにも、国民の皆さんから預かった金なので、できる限り国民の利益になるような

「成人」になろう 二〇歳で大人になるというものは、その目標を見失つていくかよくつかめません。ですから人間の間のぬけた人づくり、なごの悪口さへ聞かれる始末です。尤も人間には個性があるので、すかすか、つまり生き甲斐を感じないことであり、人生を肯定できないという状態です。これが現在の大きな悩みであり、また大きな欠点でもあるようです。ですから、それにはっきりした目標を与え、生き甲斐をつくる面であり、一つは人格をつくる面と二つに分けることができると

年令だけが満〇歳になつたという感じはしないだろう。〇歳になつたという事は、批判や目覚めの段階に達したやうなことで、成人の一年令を迎えたから、何でもできるといふのではなくして、むしろ何でもできる能力を、一応備へる年令になつたから成人になつたといふのである。成人になつていながら、実質的に成人の能力を持たない人があつたらば、彼らは子供のような成人、であつて、本當の意味の成人ではない。以上述べた意味で本當の成人になることは、なまやさしいことではない。けれども若い諸君は、いわば理想的な意味で成人になるやうに



二、火事をなくしましょう

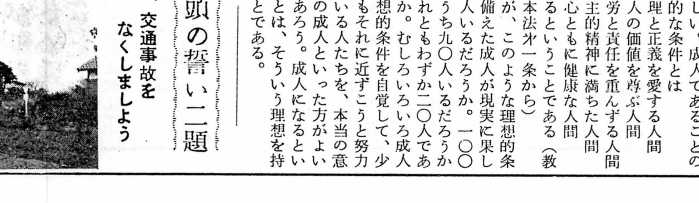
成人に望む 一、みんなを守ろう 社会生活10のルール 1、人間の生命が何よりも大切であることを、どんな場合でも忘れない。社会生活のルールはそこから出てくる。 2、私たちがみんな独立した人間であることを忘れない。私も権利をもっているし、彼も権利をもっている。 3、私たちがみんな平等であるが、立場、考え、感じ方の点で、現実にはひとりひとりちがっていることを忘れない。 4、約束をまもる。例えば会合の時間、ものの貸し借りなどについて。 5、礼儀あるいは対人関係のルールを忘れない。 6、生活のなかで公私の区別を忘れない。 7、いよいよおつき合い、お義理というやうな人間関係において、態度をあらわす。 8、権利の主張と、義務や責任を感ずること。 9、感情をまじないで、ひとと意見をたかかわること。 10、私たちがひとりひとりで

それにつけても、昨秋からの国士美化運動の強化から見て、今後一層種々な要請に応へ、メルボルンやローマの市民が戦後のオリンピックに示した暖かい友情に劣らぬ誠実と、信愛の念をもつて東京大会のお客を迎える心構えを新にしたと念願するものであります。

「成人」になろう 二〇歳で大人になるというものは、その目標を見失つていくかよくつかめません。ですから人間の間のぬけた人づくり、なごの悪口さへ聞かれる始末です。尤も人間には個性があるので、すかすか、つまり生き甲斐を感じないことであり、人生を肯定できないという状態です。これが現在の大きな悩みであり、また大きな欠点でもあるようです。ですから、それにはっきりした目標を与え、生き甲斐をつくる面であり、一つは人格をつくる面と二つに分けることができると

責任が与えられること。例えばいまはタバコ、酒ものむことが許され、結婚するのは親の同意を必要としたものから解放されたといふのは、子供に禁止されたといふのは、そういう意味である。社会的責任という点では、参政権が与えられる。つまり一人の主権者として政治に対する責任を負わされることになる。刑事法の上では少年法の適用からはずれ、一人前の國民としての刑事責任を負われ、民法の上では賠償責任その他を負わされることになる。成人になるということは簡単なことではない。

年頭の誓い二題 一、交通事故をなくしましょう 二、火事をなくしましょう



年頭の誓い二題

◎新年おめでとうございませす

国見町公民館

